

税金事件 “私の税金だいじょうぶ？”

テレビ・新聞が、町職員による町民税の着服事件を報道した直後から「私の税金は大丈夫か」などの問い合わせが多数寄せられました。その前はプレミアム商品券のズサン販売など、北川町政の不祥事が相次いでいます。北川町政に対する私たちの態度を12月議会の町長不信任決議案の討論から明らかにします。

なお、前回町長選の折には自主投票とし、町民の為の施策には賛成し、まちがった施策には反対を貫く態度を堅持してきました。

「町民主人公の町政」

からはずれて

…12月議会での不信任決議案に対する賛成討論より（抜粋・要約）…

プレミアム商品券事業の実行者が我先にと買いに走ってあきれられるばかりです。町民のことを考えなかつたずさんな行政事務は、町長の怠慢に主な原因があります。私の追及にやつと、住民生活支援に考えが及ばなかつたことを認めました。どの事業も計画・実行するとき、町民のことを考えられないような町長は即刻、不信任に値します。

北川町長は信頼回復のため、任期まで続投すると言い、多数の町民の信任を得たことを理由にしています。とんでもありません。もはや町民の信頼をみずからの行動で裏切ってしまったのです。続投することで信頼が回復するものではありません。ましてや、今回の件ではどこが間違っていたのかも、根本的な立て直しのためにも、何が必要かも考えが及ばない町長が、居座ること自体が行政の信頼を回復できない原因となります。

公約違反に当たると考えています。2年前の選挙で北川町長が、「1点の曇りもない」との見出しで後援会のチラシを発行されています。な

らば、プレミアム問題が表面化したとき、直ちに自ら真相を語ってしかるべきでした。それを隠し続けてきた姿勢は、掲げた公約に違反します。

振り返れば北川町長の任期中、官製談合疑惑、盗水問題、さまざまに揺れた町政でありました。官製談合問題では、筋を通した（ことを評価したにもかかわらず）告発したことを謝罪して、腰を折ってしまいました。盗水問題で損害請求の筋を最後まで通さず、中途半端にした一方で、他の盗水疑惑については何ら積極的な姿勢を示すことがありませんでし

た。私たちが部分的に評価した事柄も、今では完全に抜け落ちてしまっています。以上のように、甲

良町民の代表としても、行政を預かる最高責任者としても信任に値しないことを申し上げます。

住民監査請求を準備

町民の貴重な税金が職員によって長年着服されていた事件が発覚。行政内のズサンさが指摘されています。他の議員と共同し、北川町長の危機管理責任を問い、被害回復を求める「住民監査請求」を行う準備に入ります。

お願い

役場窓口（両センター含む）で現金を払った方の被害だと説明されました。証拠書類を集めたいと思いますので、ご協力お願いします。払った領収書があれば尚有効です。（領収書がない場合でも、おおよその支払い年月日がわかれば結構です。）

甲良民報

2016年 2月21日 660号
発行責任：日本共産党甲良町議員
連絡：甲良町在土 463（西澤）
Tel：38-4949 Fax：38-2242



みなさんのお声・願いをお待ちしています。

日本共産党甲良町支部の見解を紹介します。メール

くらしなどの相談は 西澤伸明 38 4949 丸山光雄 38 3123 松元たけし 38-3875

shigakoura.jp@ares.eonet.ne.jp ホームページもご覧ください【「西澤伸明」で検索】